

3. 国民健康保険特別会計

(1) 収支の概要について

本年度の予算現額は8,112,121千円であり、前年度の予算現額と比較すると307,780千円（3.7%）減少している。

また、決算額は歳入で7,758,170千円（増減率-6.0%）、歳出で7,552,355千円（増減率-6.0%）で差し引き205,815千円の黒字となっており、本年度実質収支額から前年度実質収支額218,432千円を差し引いた単年度収支額は12,617千円の赤字となっている。

決算状況比較表

（単位：千円）

区 分 \ 年 度	2	元	増 減 額	増 減 率（％）
予 算 現 額	8,112,121	8,419,901	-307,780	-3.7
歳 入 決 算 額	7,758,170	8,251,393	-493,223	-6.0
歳 出 決 算 額	7,552,355	8,032,961	-480,606	-6.0
歳 入 歳 出 差 引 額	205,815	218,432	-12,617	-5.8
翌年度へ繰り越すべき財源	0	0	0	-
実 質 収 支 額	205,815	218,432	-12,617	-5.8
単 年 度 収 支 額	-12,617	-75,245	62,628	83.2

(2) 歳入の概要について

決算額の予算現額に対する比率は95.6%で前年度の98.0%より2.4%下降している。

また、調定額に対する比率は97.6%で前年度の97.0%より0.6%上昇している。

決算額の主な内訳は、府支出金5,160,102千円（構成比66.5%）、国民健康保険料1,579,122千円（20.4%）、繰入金722,688千円（9.3%）、繰越金218,432千円（2.8%）、諸収入32,235千円（0.4%）等となっている。

歳入状況一覧表

科目	区 分		調 定 額		
	予 算 現 額	調 定 額	金 額	構 成 比	予 算 現 額 に 対 す る 比 率
	金 額	構 成 比	金 額	構 成 比	対 する 比 率
		%		%	%
国 民 健 康 保 険 料	1,577,594	19.4	1,771,877	22.3	112.3
使 用 料 及 び 手 数 料	300	0.0	433	0.0	144.3
国 庫 支 出 金	7,346	0.1	44,779	0.6	609.6
府 支 出 金	5,652,617	69.7	5,160,102	64.9	91.3
財 産 収 入	317	0.0	379	0.0	119.6
繰 入 金	741,426	9.1	722,688	9.1	97.5
諸 収 入	22,521	0.3	33,441	0.4	148.5
繰 越 金	110,000	1.4	218,432	2.7	198.6
合 計	8,112,121	100.0	7,952,131	100.0	98.0

更に決算額を分析すると、歳入決算額7,758,170千円は前年度より493,223千円（6.0%）減少している。

その内容は、国庫支出金で41,201千円（1,151.5%）、財産収入で72千円（23.5%）、繰入金で5,902千円（0.8%）それぞれ増加している。

一方、国民健康保険料で21,996千円（1.4%）、使用料及び手数料で98千円（18.5%）、府支出金で441,306千円（7.9%）、諸収入で1,753千円（5.2%）、繰越金で75,245千円（25.6%）減少している。

国民健康保険の被保険者数は14,315人で、加入世帯数は9,257世帯となっており、前年度の被保険者数14,622人、加入世帯数9,354世帯と比べ、被保険者数で307人、世帯数で97世帯といずれも減少している。

保険料の収入済額の調定額に対する比率は89.1%で前年度の86.4%より2.7%上昇している。

不納欠損額は21,011千円で前年度26,254千円に比べ金額で5,243千円減少している。

（単位：千円）

収入済額				不納欠損額		収入未済額	
金額	構成比	予算現額に対する比率	調定額に対する比率	金額	調定額に対する比率	金額	調定額に対する比率
	%	%	%		%		%
1,579,122	20.4	100.1	89.1	20,899	1.2	171,856	9.7
433	0.0	144.3	100.0	0	0.0	0	0.0
44,779	0.6	609.6	100.0	0	0.0	0	0.0
5,160,102	66.5	91.3	100.0	0	0.0	0	0.0
379	0.0	119.6	100.0	0	0.0	0	0.0
722,688	9.3	97.5	100.0	0	0.0	0	0.0
32,235	0.4	143.1	96.4	112	0.3	1,094	3.3
218,432	2.8	198.6	100.0	0	0.0	0	0.0
7,758,170	100.0	95.6	97.6	21,011	0.2	172,950	2.2

(3) 歳出の概要について

決算額の予算現額に対する比率は93.1%で前年度の95.4%より2.3%減少している。

また、不用額は559,766千円で前年度に比べて172,826千円増加しており、不用額の予算現額に対する比率は6.9%で前年度の4.6%より2.3%上昇している。

決算額の内訳は、保険給付費5,039,708千円（構成比66.8%）、国民健康保険事業費納付金2,216,218千円（29.3%）、総務費226,582千円（3.0%）、保健事業費61,348千円（0.8%）、諸支出金8,499千円（0.1%）となっている。

歳出状況一覧表

（単位：千円）

科目	予算現額		支出済額			翌年度繰越額			不用額		
	金額	構成比	金額	構成比	予算現額に対する比率	金額	構成比	予算現額に対する比率	金額	構成比	予算現額に対する比率
		%		%	%		%	%		%	%
総務費	235,089	2.9	226,582	3.0	96.4	0	-	0.0	8,507	1.5	3.6
保険給付費	5,524,536	68.2	5,039,708	66.8	91.2	0	-	0.0	484,828	86.7	8.8
国民健康保険事業費納付金	2,216,220	27.3	2,216,218	29.3	100.0	0	-	0.0	2	0.0	0.0
保健事業費	90,864	1.1	61,348	0.8	67.5	0	-	0.0	29,516	5.3	32.5
公債費	100	0.0	0	0.0	0.0	0	-	0.0	100	0.0	100.0
諸支出金	9,312	0.1	8,499	0.1	91.3	0	-	0.0	813	0.1	8.7
予備費	36,000	0.4	0	0.0	0.0	0	-	0.0	36,000	6.4	100.0
合計	8,112,121	100.0	7,552,355	100.0	93.1	0	-	0.0	559,766	100.0	6.9

決算額を前年度と比較すると480,606千円（6.0%）減少している。

その内容は、諸支出金で939千円（12.4%）増加し、総務費で36,269千円（13.8%）、保険給付費で417,282千円（7.6%）国民健康保険事業費納付金で27,510千円（1.2%）、保健事業費で484千円（0.8%）、それぞれ減少している。

科目別年度比較表

（単位：千円）

科目	2 年 度		元 年 度		増 減 額	増 減 率
	金 額	構 成 比	金 額	構 成 比		
		%		%		%
総 務 費	226,582	3.0	262,851	3.3	-36,269	-13.8
保 険 給 付 費	5,039,708	66.8	5,456,990	67.9	-417,282	-7.6
国 民 健 康 保 険 事 業 費 納 付 金	2,216,218	29.3	2,243,728	27.9	-27,510	-1.2
保 健 事 業 費	61,348	0.8	61,832	0.8	-484	-0.8
諸 支 出 金	8,499	0.1	7,560	0.1	939	12.4
合 計	7,552,354	100.0	8,032,961	100.0	-480,607	-6.0

(4) むすび

本年度の決算は実質収支で 205,815 千円の黒字となっており、単年度収支においては 12,617 千円の赤字となっている。実質収支において黒字となった要因としては、歳入において国庫支出金、財産収入、繰入金が増加した一方で、歳出において総務費、保険給付費、国民健康保険事業費納付金、保健事業費が減少したことによるものである。

また、前年度に比べて保険料の収納額は減少しているが、保険料収納率については、前年度比 2.7%の上昇となった。なお、歳入のうち 717,657 千円は一般会計からの繰入である。

本年度も前年度同様に保険給付費は減少しているが、今後も疾病予防、健康管理に関する事業を推進して保険給付費を抑制する施策が必要である。

また、収入未済額は依然 170,000 千円を超える高額となっているが、前年度に引き続き減少しており、努力されていることが認められる。不納欠損額は前年度より減少しており、引き続き早期の徴収に努めていただきたい。

保険料収納率は前年度から上昇しているが、今後とも滞納保険料等の収納率を高める努力をしていただき、国民健康保険特別会計の健全化を図っていただくよう望むものである。